

不燃ごみ資源化事業について

1 事業概要

これまで区では、収集した不燃ごみ全量を、北区堀船清掃作業所で船舶に積替え、中防不燃ごみ処理センターへ搬入し、不燃ごみのうち鉄やアルミ分の資源化を行い、残りは埋め立てていた。しかし、不燃ごみの90%以上は資源化可能物で構成されるため、足立区内にある民間の資源化施設に陸送により搬入し、選別・資源化委託を行い、資源化を図ることとした。この選別・資源化委託によって、民間の資源化施設への搬入量のうち90%を資源化することが可能となる。

不燃ごみの資源化事業により、さらなるリサイクル率の向上と、限りある埋立処分場の延命化に寄与するとともに、不燃ごみの安定的な処理ルートの実現を目指す。

なお、不燃ごみの区分や出し方に変更はなく、従来どおり月2回の収集を行う。

2 平成28年度の資源化施設搬入状況

区が収集した不燃ごみのうち30%程度を民間の資源化施設へ搬入する。

(1) 平成28年4月搬入実績

不燃ごみ収集量	資源化施設搬入量	資源化施設搬入割合
279.22 t	75.75 t	27.13%

(2) 平成28年4月資源化実績

資源化施設搬入量	資源化量	資源化割合
75.75 t	69.40 t	91.62%

※選別・資源化品目別内訳及び区歳入金額は裏面参照

3 今後の不燃ごみ資源化事業について

平成28年度は、不燃ごみの約30%を試験的に資源化し、処理方法や環境負荷、資源化量等の効果の検証や、問題点の洗い出しを行い、効率化を図ったうえで、平成29年度以降に不燃ごみ全量を民間の資源化施設へ搬入することを目指す。

4 区民周知

平成28年5月2日 事務事業連絡会

平成28年5月9日 平成28年度区政事務事業説明会

平成28年6月下旬 不燃ごみの資源化実績を区ホームページに掲載予定

5 選別・資源化量の品目別(4月実績)

種 別	選別分類	品目等	資源化量(kg)
金 属 類	小型家電類	炊飯器・電話機等	9,420
	その他金属類	鍋・やかん等	17,165
空 缶 等	スチール・アルミ缶	スチール缶・アルミ缶	880
コ ー ド 類	コード類	コード類	706
可 燃 物	可燃物	プラスチック類・紙等	7,960
蛍光灯・管球類	蛍光灯・管球類	蛍光灯・管球類	1,246
電池・ライター	電池・バッテリー	乾電池等・バッテリー	1,357
	ライター	ライター	223
ガラス・陶磁器	びん・ガラス	無色・雑色	11,351
	陶磁器くず	無色・雑色	14,820
段 ボ ー ル	段ボール	資源化可能な段ボール	123
スプレー缶	スプレー缶	スプレー缶	2,785
そ の 他	その他	上記分類に属さない物	1,361
合 計			69,397

6 区歳入金額(4月実績)

品 名	単価(円)	数量 (kg)	売却金額(円)
金属類(鉄シュレッダー)	6.20	7,337	45,489.40
金属類(非鉄シュレッダー)	37.39	1,329	49,691.31
アルミ缶	59.78	176	10,521.28
スチール缶	2.15	704	1,513.60
段 ボ ー ル	4.50	123	553.50
小 計			107,769.09
消 費 税 (小数点以下切り捨て)			8,621.00
合 計 (小数点以下切り捨て)			116,390.00